

長鼻類（ゾウの仲間）と恐竜の化石の研究

教員名：三枝春生

連絡先メールアドレス：saegusa<atmark>hitohaku.jp

◎ どのような研究をしているのか？

長鼻類と恐竜の化石を主な材料として脊椎動物の進化史を研究しています。長鼻類に関しては主にアジアとアフリカで発掘された化石を材料として系統と古生態を研究しています。最近は特にミャンマーやタイ産の化石に力を入れています。恐竜に関しては、兵庫県篠山市と丹波市に分布する前期白亜紀の地層である篠山層群の恐竜化石、特に同層群産の竜脚類恐竜を対象とし、その系統と古生態を研究しています。また、同層群の恐竜以外の脊椎動物化石の系統・古生態や同層群の古環境復元に関しても他研究者と共同研究を進めています。



◎ 主な研究業績

- 1) 《長鼻類化石の研究》 Saegusa, H. (2008) Dwarf *Steglophodon* from the Miocene of Japan: passengers on sinking boats. *Quaternary International*, 182(1): 49-62 ..
- 2) 《長鼻類化石の研究》 Saegusa, H. and Gilbert, W. H. (2008) Chapter 9 Elephantidae. In (W. Henry Gilbert and Berhane Asfaw eds). *Homo erectus* in Africa: Pleistocene Evidence from the Middle Awash, Ethiopia. The Middle Awash Series 1, pp. 193-226. University of California Press, Berkeley.
- 3) 《恐竜の化石の研究》 Saegusa, H. and Ikeda, T. (2014) A new titanosauriform sauropod (Dinosauria: Saurischia) from the Lower Cretaceous of Hyogo, Japan. *Zootaxa*, 3848(1):1-66.

◎ 学生に向けて一言

古脊椎動物の研究を希望する学生（社会人を含む）の大学院進学を受け入れます。学部で地質専攻が理想的ですが、それ以外の学科卒でも化石の研究に役立つことはいろいろあるので相談してください。研究対象も私は長鼻類と恐竜ですが、それ以外ももちろん有りです。毎年篠山層群の調査を行いますので、調査に伴う力仕事・よごれ仕事を進んで行う方を特に歓迎します。